



2期生 (経済学部/経済学科)

岩坂 真奈

達成感の虜



01 生まれと育ち

私を育てたソフトテニスとの出会い

1995年9月7日、京都府城陽市で、2人兄妹の妹として生まれました。小さいころから何事にも興味がある子で、習い事の体験に行ったらなんでも習いたい！と言っていました。そして、ピアノ・そろばん・体操・ソフトテニスを1日にまとめてお稽古に行く日もあるほどタフな子でした。その中でも、ソフトテニスにはかなり力を入れていました。テニスは幼馴染に誘われて、小学校2年から始めました。そのクラブは、京都で1位を争う強いクラブだったので、土日は1日中練習していました。休みもほぼなく、体操の発表会前などは、テニスと両立することがかなり難しかったです。しかし、両方やり遂げたいという気持ちで家族が理解してくれていたため、送り迎えなど、本当に献身的に支えてもらいました。中学では公立の学校の部活動でソフトテニスをし、納得できる結果を残せなかったため、かなり不完全燃焼でした。そんなことから、テニスに全力を注ぐために京都光華高校に進学することにしました。高校での部活動は、朝は始発電車で朝練習、放課後も練習して帰宅は午後9時を過ぎ、休日は県外に遠征に行くので体力的にも精神的にも想像以上に厳しい生活でした。そんな毎日乗り越えてきたので、2年の夏の大会で、そこそそ勝てるだろうと思っておりましたが、府大会で優勝候補に全く歯が立たず、絶望の結果に終わりました。そして次の日に、先輩方が団体戦で4年ぶり

02 大学生になってからのこと

達成感を求めてむずびわざへ

大学受験に失敗し、京都産業大学に入りました。本当は、高校3年まで続けていたソフトテニスを大学でも続けたいと思っ



ていましたが、京産に女子ソフトテニス部が無かったため、残念ながら続けることができませんでした。入学当初から出鼻をくじかれた私は、1年生の間、何事にもやる気がなくただ学校に行くという全く楽しくない生活を送っていました。高校まで部活三昧で、どうしたら上手になれるかを日々考えて生活していたので、大学で毎日何も考えずに過ごしていることに危機感を抱きながら毎日過ごしていました。そんな1年生の冬に、むずびわざコーポレーションのチラシを見て、日本初・長期有給インターンシップという言葉に惹かれ、説明会に足を運びました。そこで、たった1つしか学年が変わらないとは思えない先輩の素晴らしいスピーチに感動し、「これならば、大学生活で大きな達成感を得られるかもしれない」と思い受講を決めました。



04 長期有給インターンシップ 周囲のことを考えることがいかに大切か

長期有給インターンシップでは、カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社 の梅田薦屋書店にお世話になり、勤務しているスタッフ150人全員を巻き込んで行う、店内清掃企画を提案しました。しかし、企画を始めて実行する日に一部のスタッフから、その清掃時間には協力できないと言われてしまったことをきっかけに、今までどれほど自分本位で行動してきたのかを痛感しました。学生間では、自分が友達だからとかで、多少納得できないことでもしたと言ったことをやらせてもらえませんが、仕事では、そんな甘い考えは全く通用しませんでした。

協力してくださるスタッフの皆さんが、どんな状況で力を貸してくださるのかを全て考えていなかったことに気が付き、自分勝手な行動では仕事はできないんだと痛感した体験でした。

05 大事にしたこと

支えてくれた人たちに感謝

いつまでも、家族や友人、先生は大切にしたいと思っています。家族は、テニスの大会の時には欠かさず応援に来てくれたり、むずびわざの活動が忙しく、夜遅くに帰ってもご飯を用意してくれていたりと、本当にいつも応援してくれているので、いつか恩返しをしたいです。また、中高大の時代の友達や先生とも、ずっと連絡を取っていたいと思っています。他愛ない会話思ひ出話で盛り上がるだけで、自分がリフレッシュできるので、年に一度は会って社会人になった後でも、また仕事を頑張ろうと思える関係を続けていたいです。



知らない先生に勇気を出した行動を褒められる

16歳

自分の行動をどこかで見ている人がいるんだ、天は見ている地は見ているって本当なんだと思った。

高校の部活動の顧問、南本先生に出会う

17歳

勝つにはまず学校生活を見直せと言われ、何かを成功させたいなら、他のことにも力を注がないと結果はついてこないということを学んだ。

東田先生に出会う

19歳

何事にも目的や目標をもって取り組むことで、結果が違うことを知った。

プロフィール

1995年9月7日、京都府城陽市生まれ。2人兄妹の妹として生まれる。京都光華高校卒。同校で、小学校2年から始めたソフトテニスを高校3年まで11年間続け、努力を重ねることの大切さ、そこで得られる達成感はこの上なくうれしいものだと学ぶ。現在、京都産業大学経済学部在学中。

先輩・後輩からのメッセージ

有瀧 恵里 さん (1期生)

しっかり者でとにかく負けず嫌いな真奈。「何としても、やってやる。」と強い意志を持って行動できる力があり、チームにいてほしいと思うとても心強い存在！

中村 浩基 さん (3期生)

いつもハキハキ、岩坂さん。3期生の代表としてひよこだった私に、ダメなことはダメ、良いことは良い、と白黒はっきり教えてくださった、ユーモラスでノリの良い姉貴です！

03 これからのこと

小さいころからの夢

以前、父が大工をやっていたことから、小学校の時に実家を家族だけでリフォーム